

Exposition conçue et réalisée par le Centre Pompidou, Musée national d'art moderne

RAOUL

DUFY



《ヴァイオリンのある静物：パッサへのオマージュ》1952年
Photo: Jean-Claude Planchet, Centre Pompidou, Paris
©ADAGP, Paris & APG-Japan/JAA, Tokyo, 2001

 Centre
Pompidou

市制施行111周年記念 ポンピドーセンター所蔵

デュフィ展

2001年11月3日(土) - 12月9日(日)

休館日:月曜日 開館時間:火～金曜日午前9時30分～午後7時、土・日曜日・祝日午後5時
[入室は、いずれも閉館30分前まで]/初日は午前10時開展式

高松市美術館 Takamatsu City Museum of Art

主催=高松市美術館/読売新聞大阪本社/西日本放送
企画=ポンピドーセンター・国立近代美術館

後援=外務省/フランス大使館

協賛=東レ株式会社

協力=日本航空

観覧料:一般1,000円(800円)/大学・高校生600円(480円)/中学・小学生300円(240円)

* ()内は前売りおよび団体20名様以上の料金 * 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料 * 第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

RAOUL DUFY

パリ、ポンピドーセンター所蔵のデュフィ作品138点を公開することになりました。初期の印象派、そしてフォーヴィスム(野獣派)の時代から、晩年の「貨物船」の連作まで、画家の生涯をたどり、その芸術の魅力を余すことなく伝える展覧会です。「軽さ」と「楽しさ」で語られることの多いデュフィが、いかに多くの前衛

的な創作を試み、多様な表現を発見していったか。それはデザインと美術を融合することであり、一方で多様な線表現を、豊かな色彩とどのように結びつけるかという実験でした。

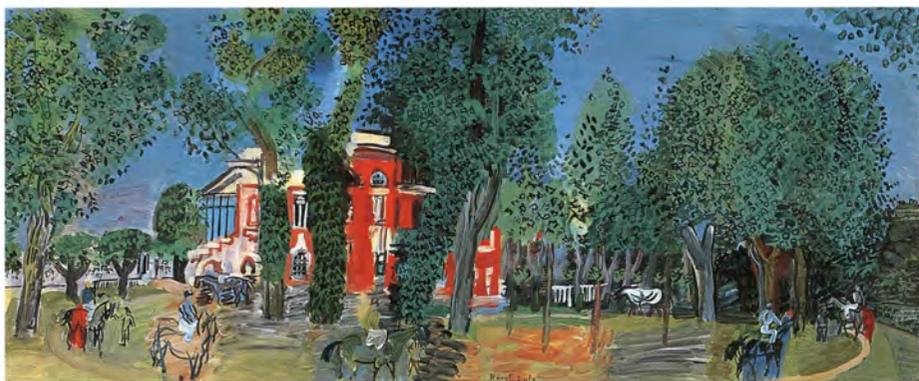
またデュフィのテーマである「海」「水浴びする女」「港」「競馬場」「アトリエの裸婦」「オーケストラ」などは、すべて束縛のない逸楽の光景です。虹色の色彩と飛翔する線によって描かれた作品は、どれも光に満ちあふれ、悩みや苦しみとは無縁の表情を見せます。

だからといって彼が、人間の感情の激しさや暗さに無関心であったわけではありません。むしろ知りつくしていたからこそ、絵には楽しさと美しさを追い求め、余暇(レジャー)というテーマを選びました。その美意識は、観る者に安らぎを与えることを目指したマティスと通ずるものがあります。

この展覧会が、デュフィという画家をより深く理解することができる体験となり、彼の作品をとおして、豊饒なイメージが氾濫した20世紀という時代を振り返らせるまたとない機会となることを、願ってやみません。



1.《トゥルーヴィルのポスター》1906年



2.《ドーヴィル競馬場のパドック》1930年



3.《網を持つ漁師》1914年頃



4.《旗で飾られた通り》1906年



5.《バラ色の服の女》1908年



6.《3人の水浴びをする女》1919年



7.《赤いヴァイオリン》1948年頃



8.《黒い貨物船、水浴びをする女、海岸のテント》1948年頃

Centre Pompidou, Musée national d'art moderne, Paris
©ADAGP, Paris & APG-Japan/JAA, Tokyo, 2001

パリにあるポンピドーセンター・国立近代美術館は、ルーブル美術館、オルセー美術館と並ぶフランスの三大美術館の一つとして知られ、20世紀芸術の殿堂とも言われています。コレクションのなかでは、ピカソやマティスなどが有名で、毎日多くの来場者の目を楽しませています。本展は、同館が企画し、所蔵しているデュフィの油彩作品のほとんど全てを出展して実現したものです。

Photo:
Philippe Migeat, Centre Pompidou, Paris:1, 3, 4, 6, 8
Jacqueline Hyde, Centre Pompidou, Paris:2
Jean-François Tomasian, Centre Pompidou, Paris:5
Centre Pompidou, Paris:7

[ギャラリートーク]

- 当館学芸員が展示解説をいたします。
11月10日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティア「civi(シヴィ)」とともに鑑賞しませんか?
毎日曜日および祝日[11月3日(土・祝)・4日(日)・11日(日)・18日(日)・23日(金・祝)・25日(日)、12月2日(日)・9日(日)]の午前11時と午後2時の一日2回。2階展示室にて

[子どものためのギャラリートツアー]

- 当館学芸員がデュフィ作品を素材に子どもを対象としたギャラリートツアーをおこないます。
11月10日(土)・12月8日(土)午前10時~11時30分/対象:小学生15名(申し込み制)

[次回催し物のお知らせ]

- 2002年3月1日(金)~3月31日(日)「クール展展」

高松市美術館 〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 Tel.087-823-1711



[交通のご案内]

JR四国-JR高松駅下車、南へ徒歩15分
琴平電鉄-瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
バス路線-紺屋町バス停下車、徒歩2分
駐車場-美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)